

わたしのまちの 「さんかく」じまん!

▲sankaku=参画!

大須賀町

平成十一年に、大須賀町は「男女共同参画都市宣言」をし、毎年九月十四日を「おおすか男女共同参画の日」として、さまざまなイベントを行っています。

平成十五年には、ハートフル会議のメンバーを中心に、学校における男女共同参画のテーマでショートコントが披露されました。



今はね、「女の子らしい色」とか、「男の子らしい色」と言われないんだよ

男の子に赤い服きていて、おんなでもん! もと男らしい服着てら...

えーん

今、学校では、男の子色、女の子色、出席番号は男の子から先に始まるなどという、子どもの活動に性別による制限はしません。生徒の個性や能力を伸ばしていくことを大事にしています。

金谷町

七月三十日を男女共同参画の日に定め、記念講演会を開催。その中で「夢芝居」(代表 松本洋子さん)が女性農業者の家族経営協定についてわかりやすく寸劇で披露しました。

家族経営協定とは、労働時間や報酬などが見えにくい農業分野で、より暮らしやすく、より働きやすい農業経営を目指し、休日や報酬、役割分担などを家族で話しあい、その取り決めを书面化するというルールづくりを行うこと。協定の基本は夫婦であり、互いの役割を認めて、自分の役割を果たすことが経営の向上につながるという考えでできています。



富士宮市



「ねっとわーく富士宮」(代表 望月乃武子さん)では、昔話の「桃太郎」を基に、「桃太郎」を「桃子ちゃん」と女性にした、奥山和弘さん原作の「モモタロー・ノーリターン」を紙芝居にして作成、各地で上演しています。

この紙芝居の中では、桃子ちゃんを育てていく中のおばあさん、おじいさんの変化や、性別役割分担意識の強い鬼ヶ島に社会改革へ出掛ける桃子ちゃんの姿を、分かりやすく脚色されています。このことで、あらゆる世代の人を対象とし、ジェンダーに気づく視点を持つってもらうというのがねらいです。

十五年度は、母親クラブ例会、民生・児童委員会、富士宮市男女共同参画フォーラムで開催しました。

大事にしたいね 自分らしさ・あなたらしさ

子どもたちが性別にとらわれず、個性や能力を発揮し自立した豊かな生き方ができるように、また、自分らしさを大切にしようとする気持ちを持ってもらうために、県では、小学校高学年を対象とした男女共同参画啓発副読本を作成しました。

県内全小学校に配布し、平成16年度から総合的な学習の時間、学級活動、道徳の時間などで活用されるようになります。

一般の方も、あざれあ図書室でご覧になれます。



読者の声

43号特集

あざれあ10周年特集

「わたし栽培図鑑」

～あざれあで出あって

お寄せいただいた声をご紹介いたします。

●公民館でみつけたこの本。県民であっても「あざれあ」ってどこにあるのかな?と、読んでみて静岡県民の為に誰でも利用できる所なのだなあと実感しました。仕事人間から解放された今年、良い本にめぐりあいました。私も勉強したいと思います。私でも出来るものから。

浜松市 小野和子さん

●女性が漁業に挑戦する。昔、浜名湖で養殖カキの手伝いをしました。サラリーマンを辞めたら浜名湖の漁師になろうと考えているが、その勇気が一時消滅していた。勇気づけられた記事である。

浜松市 新村健一さん

郵便はがき

4 2 2 8 0 6 3

50円切手を
お貼りください

静岡県馬淵1丁目17-1
静岡県男女共同参画センター
『ねっとわあく』編集係 行

※差し支えなければご記入ください。

(ふりがな)

お名前

ご住所

〒

静岡県

市町村

市

番

丁

丁目

TEL

FAX

御意見をお寄せくださった方の中から、抽選で県内の美術館の入場券・入場割引券をプレゼント

点線で切り取り、お手数ですが切手を貼って送ってください。
御意見・御感想も、お待ちしております。...

読者アンケートにご協力ください。

女性のチャレンジ支援策について

—女性のチャレンジは、男性の元氣、社会の活氣—

我が国では、平成14年より、暮らしの構造改革の一環としてさまざまな分野における女性のチャレンジを推進することについて検討され、次のようなアピールが出され、女性のチャレンジを応援しています。内閣府のチャレンジサイトに、あざれあ事業、静岡県内の団体も紹介されます。

レミッシェンジャー・2003アピール

日本の女性は人口の半分を占め、世界最長寿の健康にめぐまれ、世界有数の高い教育を受けています。しかし、女性の能力は、今、社会で十分に活かされているとは言えません。

21世紀の日本はあらゆる分野で新しい夢と希望を、新しいアイデアを、新しいエネルギーを必要としています。

女性のチャレンジは社会に活気を与え、ひいては、男性も元気にします。

私たちは、あらゆる世代の人々に、「今こそ、レッツ チャレンジ」と呼びかけます。

男女共同参画会議基本問題専門調査会としては、「女性のチャレンジ支援策」の推進のために、より多くのチャレンジの機会(選択肢)を提供するため、提言の中でも特に重点的な取組として3つの方策をお示しします。皆様のご理解を得ながら、以下のことを進めていきたいと思えます。

1 女性が活躍できるよう

ポジティブ・アクションを推進

国連ナイロビ将来戦略勧告で示された30%の目標数値や諸外国の状況を踏まえ、社会のあ

2 身近なチャレンジモデルの提示

あらゆる分野において、2020年までに、指導的地位に占める女性の割合が、少なくとも30%となることを目指して、各種取組を進めるよう提案します。このため、女性が活躍できるようにポジティブ・アクションを積極的に推進することが重要です。

様々な分野で、希望をもってチャレンジできるよう、身近なチャレンジモデルを提示し、一人一人が自分に合ったチャレンジを具体的にイメージし、選択できるようにします。

3 さまざまな「ジャンル」

誰でもチャレンジ

いつでも、どこでも、誰でもチャレンジしたいときに、チャレンジできる環境をつくりまします。「働く」「起業」「NPO」「農業」「まちづくり」「国際」等の分野でチャレンジしたいとき、気軽に相談できる総合的な窓口をつくり、一箇所が必要な情報が得られるようにします。

これにより、チャレンジの多様な機会(選択肢)が広がります。

アンケート ○をつけてください

◆「ねっとわあく」をどちらで入手されましたか?

※あざれあから送られた場合には「DM」に○をつけてください。

DM・その他 ()

◆「ねっとわあく」をお読みになるのは初めてですか?

初めて・ () 回目・毎月読んでいます

◆どの企画に興味を持たれましたか?

() () () ()

◆これから取り上げて欲しい企画や今号のご感想、その他御意見などがありましたら向でも御記入をお願いします。

御協力ありがとうございました。

メッセージを「ねっとわあく」誌上でご紹介する場合があります。

ペンネームを御希望の方は、記入してください。

(ペンネーム)

お答えいただいたアンケートは、編集の参考にさせていただきます。皆様の御意見・御感想をお待ちしております。

いつでも、どこでも、誰でもチャレンジできる 身近なチャレンジ支援の推進

〈支援策の方向〉一人一人のニーズに合ったチャレンジのサポートをします！
チャレンジモデルをわかりやすく提供します！

女性のチャレンジのためのネットワーク環境整備（イメージ図） 拠点で自分に合ったチャレンジが探せます！

現状

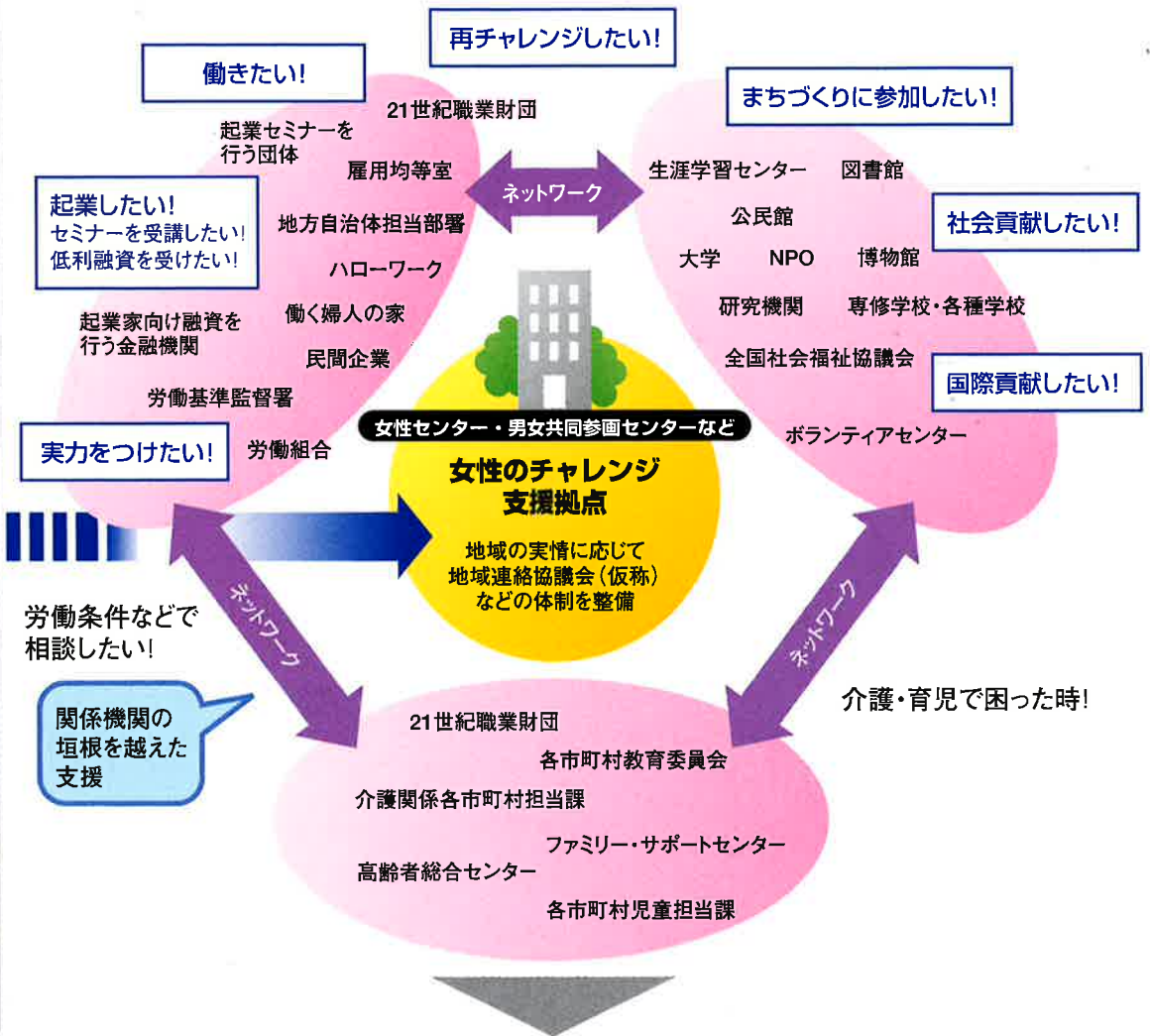
- 何をしたらよいかわからない
- 自分に合うものがわかりにくい
- どこからスタートすればいいかわからない
- たくさんの窓口があってどこに行けばいいかわからない

チャレンジ支援ネットワーク検討会（関係府省、産業界、大学、研究機関、有識者など）

支援

国レベルで体系的に情報提供システムを整備

再チャレンジしたい、キャリアアップしたい、起業したい女性が、効率的に必要な情報を得られるよう、女性のチャレンジ支援関係の機関のネットワーク化を進め、総合的な情報提供の体制を整備



モデル事例

企業の女性活用が社内の活性化へ!

企業活性化!

- 女性企業家の活躍!
- NPOで活躍!から、(新たな商品開発、子育て・介護サービスなど国民のニーズが高い分野での仕事おこし)

仕事おこし!

- ボランティア活動がNPO法人設立へ!
- 自治会、コミュニティ協議会など地域活動から、子どもとお年寄りの交流の場や住民の環境問題、防災活動への参画が活発に!

地域活性化!

- 地域国際交流参加がきっかけで国際会議へ参加!

問い合わせ:内閣府男女共同参画局推進課

TEL 03-5253-2111 (代表) FAX 03-3592-0408

ホームページ <http://www.gender.or.jp/>

編集後記



伊豆の山中にピンクのキリンが出現!? 実は、鈴木まもるさんが山の中の一軒家の目印に制作したオブジェ。取材に向かう車中、地図を片手に発見した時は、「わあ! なんてかわいいの」と大騒ぎ。「最初は黄色に塗ったけど、はげてきたのでピンクに。ピンクのキリンがいてもおもしろいでしょ?」と鈴木さん。さて、次は何色に? 決まりはありませんよね。

静岡市 久保田 さきの

何をやっても自分の欠点ばかりが気になって、落ち込みがちな日々。育っているのは子どもばかりじゃない、まだまだ、自分自身も育てなくっちゃ・・・と取材を通じて感じました。修行が足りないのは、成長の余地があるということ。自分らしさを大切に、でも柔軟に変わりたい、と思えるようになりました。何色にしようかな～?

焼津市 佐藤 みゆき



落合恵子さんをひと言で言うならば「素敵」。素敵を辞書で引いてみた。【心を引きつけられるさま、すばらしいさま】辞書よ、その通りだ。「扉はあなたの中にある。それは『変えたい』と思う人しか持てない扉。そのカギを持つのも、あなた自身」50cmの目の前で素敵な人が語る。ギュッと手を握りしめた冬の午後。

静岡市 鈴木 美津子

井の中の蛙は、思い切ってジャンプ! 水溜りに何度か落ちては、飛び石を利用してハードルを乗り越えた。ようやく仲間達とゴールインできた今「ばんざーい」の三唱気分があります。この一年出会えた人達・支えてくれたスタッフ・そして仲間達に乾杯!

吉田町 関野 直子



今回取材で出会った人たちは、どなたもしなやかで自然体。でも厳しさも持ち合わせた素敵な大人の方ばかり。素敵な大人が増えて、子どもたちが未来を信じられるといいな。だって、私たちの未来はいつだって、子どもの中にあるのですもの・・・。えっ私? もちろん私も努力します。自分もまわりもノックし続けて。

静岡市 宮城島 真理

『ねっとわあく』は年2回発行(3月、10月)
県行政センター、県内女性センター、市役所、
公立図書館、公民館、文化会館などで
配布しています。

- 「ねっとわあく」は県民から公募した編集員が企画編集しています。
- 編集アドバイザー/大国 田鶴子
- デザイナー/利根川 初美
- 発行/平成16年3月
- 編集/静岡県男女共同参画センター
- 住所/〒422-8063 静岡市馬淵1丁目17-1
- TEL/054-250-8107 FAX/054-255-9266

